

ペタンクとは

*** はじまり** - 1910年6月南仏、地中海に面したラ・シオタの街でペタンクは誕生しました。ジュール・ルノワールはかつてはブールの名選手でしたが、リウマチのためプレイ出来ません。特別に椅子を与えられ観戦をしていました。その内退屈してきたルノワール氏は椅子から2mほど離れた的に向ってボールを投げ始めました。

全員が同じ場所から投球するようになりフランス語のピエ・タンケ(「両足を揃える」の意味)からペタンクになったと言われています。

山形県では1989年(平成元年)に日本レクリエーション協会主催のニュースポーツセミナーのペタンク講習会受講者を中心に普及活動を始めており、2020年に県内2団体が合流し公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟の加盟団体になっております。



注: ペタンクは、健常者と軽度な身障者向けのスポーツで年齢は問いません。主なる大会としては世界選手権・ジュニア選手権・ワールドゲームス・2020年には東京オリンピックの公式競技種目に立候補しましたが落選でした。(オリンピック種目には1995年になっております。)
(写真は、世界選手権・1999年ジュニア選手権=タイ・ブーケット、2000年ワールドゲームス秋田大会=スタッフ参加)



現在は、球技種目として扱われるスポーツなので競技規則を守り、正しいペタンクをすることが重要であり、また生涯スポーツとして、それとともに健幸アンバサダー事務局より「ながら歩行による健康づくり」の一つとしてペタンクも担うと推奨をいただいております。まだまだ、マイナーなスポーツですが皆さまと一緒できますよう願っております。



* ペタンクの説明

ペタンクは、年齢を問いません。但し、ボールを投げたり転がすことが可能な健常者及び軽度な身障者向けです。フランスでは写真のように幼児から高齢者まで楽しんでおります。

ゲームは、1人対1人(ボールは各3個) / 2人対2人(ボールは各3個) / 3人対3人(ボールは各2個) 体型に合わせて、大きさと重さを選びます。

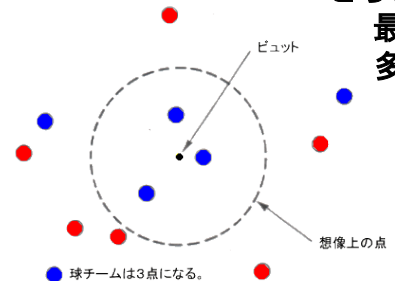
コンクリートや芝生・室内の床等は適しませんが土間や土・砂利等の地面で対戦します。

コートは、15m×4m (普通自動車を縦に3台並べた長さ)

どちらかのチームが11点や13点先取したときに勝敗が決まります。(時間制もあり)

最初に目標玉(ビュット)を6mから10mくらいに投げ、ボールを近くに投げ、相手より多く近づければ勝利!

現在は黒ボールが1点となります。



詳しくは、山形県ペタンク連盟
ホームページ pipi.org/~fuse3
布施善範 090-6685-6850